

まつもと じゅん  
**松本純**

中区・磯子区・金沢区  
**まちかど  
政治瓦版**



松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

## 「麻生支持」の私が、なぜ安倍応援団の会合へ?

### 再チャレンジ支援議連 出席 の疑問に答えます

勝ち組・負け組を固定しない社会の構築を目指す政策勉強会「再チャレンジ支援議員連盟」の設立総会が6月2日に開かれました。マスコミはこれを「自民党総裁選に向けた安倍支持グループの事実上の旗揚げ」と報じました。

私もこの会に出席したのですが、都合で中座すると、たちまちテレビカメラに取り囲まれてしまいました。「まちかど政治瓦版」の6月号でも明らかにしたように、私は総裁選では麻生太郎外務大臣を支持しています。「麻生支持の松本純が、なぜ安倍応援団へ」。記者さんたちの質問はこの一点に集中しました。



新聞記者に取り囲まれてしまいました

でも私は、総裁選は総裁選、政策は政策だと思っています。政府は3月29日、安倍晋三官房長官を議長とする「再チャレンジ推進会議」を設立し、5月30日には、その議論の「中間取りまとめ」を発表しました。内容は、①企業の新卒一括採用システムの見直し ②U・Iターンによる再チャレンジ支援 ③ニート、フリーターなど若者の再チャレンジ支援—など多岐にわたっています。

「従来の施策を総花的に羅列したにすぎない」「インパクトに欠ける」などの批判があるのは私も承知しています。しかし、構造改革という激しい時代の流れの中で、社会格差が広がっていると指摘されている現在、こうした政策が緊急に求められているのも事実です。だとしたら、批判するだけでなく議論することが何よりも大切なのではないでしょうか。

安倍さんと私は、かつて自民党政務調査会で一緒に活動した仲間です。落選後、国政に復帰したときに私が訴えたのは「安倍世代が次代を創る」でした。総裁選で麻生さんを支持し、政府が進めようとしている政策で安倍さんをサポートする。それは、私の中では少しも矛盾していません。

永田町の動きは今、すべて自民党総裁選がらみでとらえられてしまいます。総裁選という巨大な渦の中に、緊急に求められている政策が巻き込まれ埋没してしまっているのでしょうか。総裁選には粛々と臨む一方で、政治の空白はひとときも許されないのです。

## 松本議員の国会レポート ③〇

平成18年

【5月30日(火)】

- 午前8時 ●世界基金支援日本委員会議員タスク  
フォース会合
- 午前9時40分 ●国会対策委員会
- 午前10時 ●横浜市の金田副市長と会談
- 午前11時 ●議院運営委員会理事会
- 正午 ●議運事務局等改革小委員会中間報告
- 午後6時 ●製薬産業政治連盟懇親会
- 午後9時 ●麻生外務大臣懇談会

「世界エイズ・結核・マラリア対策基金」の活動を支援するため、国会議員として何が出来るかを研究する委員会です。この日は、エイズに対するタイの取り組みについて、スリン・ビツワン元タイ外務大臣からお話をうかがいました。その後の意見交換で同氏は、「政治家の活動には継続性がない。NGO（非政府組織）など、市民の草の根運動家のような息の長い活動が重要だ」と強調されました。おおいに同感しました。

【6月3日(土)】

- 午前8時30分 ●国道357号線対策会議
- 午前10時 ●自民党横浜市連総務会
- 午後0時30分 ●日本病院薬剤師会地方連絡協議会
- 午後7時 ●神奈川県神輿保存会道場祭
- 午後7時 ●中区薬剤師会総会

国道357号線の磯子区・八幡橋周辺の交通渋滞は、地元にとっても大きな問題です。この問題に長い間取り組んでおられる沿線の町内会長さんらが新井敏二郎県議の事務所に集まりました。抜本的対策としては、357号線の整備を進めるしかないのですが、横浜国道事務所の計画では、その着工は10年後以降とされています。会議では、お隣の中区の関係町内会とも連携して、地元の声を主張していくことになりました。

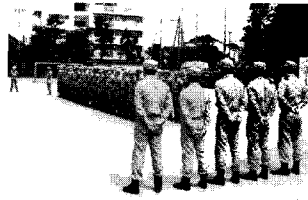
【6月7日(水)】

- 午前9時 ●衆議院厚生労働委員会
- 午前9時10分 ●国会対策正副委員長打合せ
- 午後2時 ●日本製薬団体連合会の  
森田会長らと会談
- 午後2時30分 ●総務省の林事務次官と会談
- 午後6時30分 ●衆議院正副議長主催の議運委員長・理事との懇談会

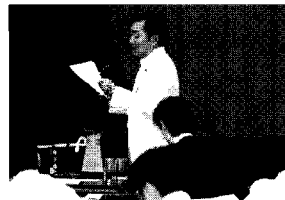
薬事法改正について、実に6年ぶりに委員会の質問に立ちました。ですが、質問時間の多くを野党に振り分けたため、私の持ち時間はたったの5分。それでも貴重な時間ですから、薬剤師としての長い経験から、一般用医薬品の安全性確保のために専門家による情報提供や相談対応が必要なことを主張し、政府に①より効果の高い一般用医薬品承認の推進 ②購入者の視点に立った医薬品販売環境の整備—を求めました。



▲5/29 「相沢英之君の出版を記念する会」で奥様の司葉子さん



▲6/4金沢消防団第8分団春季訓練会（開会式大道小学校で）



▲6/7 6年ぶりの質問はたった5分！厚生労働委員会(薬事法改正)



▲6/14 金沢区の高谷の皆さんが国会見学に

## 永田町日記 「こわもて」王毅大使の素顔に親近感を抱きました

靖国問題などでギクシャクしている日中関係で、常にその発言が注目される中国の王毅駐日大使と6月14日、初めてお会いしました。河野洋平衆院議長が会長を務めるアジア・アフリカ研究会のメンバーと大使との懇親会です。テレビなどを通じて見る大使には強面(こわもて)の印象が強かったのですが、直にお会いすると、とても流暢な日本語を話すささやかな人柄で、親近感を感じました。実は河野議長の指示で、7月1日から5日、議会交流の一員として北京などを訪問するので、事前にご挨拶をという意味もあったのですが、有意義な一夕の歓談で、今後も政治的にも経済的にも両国の協力関係が築けるよう努力していきたいとの思いを強くしました。(純)

まつもと じゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市長(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議2期目。総務大臣政務官に就任。▶平成17年～衆議3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国の形をつくるため奮闘。▶平成17年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営や新人教育に取り組む。